



学校だより

令和8年4月30日
横浜市立南本宿小学校
校長 世古 正樹
No. 578

「大人は子どもたちの鏡」

校長 世古 正樹

新緑が目まぶしい季節となりました。4月になって一気に気温が高くなり、汗ばむ日が続いています。新学期が始まって1か月、新しい教室、新しい友達、新しい先生との出会いに子どもたちは目を輝かせ、元気いっぱい学校生活を送っています。

4月24日(金)に「1年生を迎える会」がありました。新学期になって初めて、全校児童が体育館に集まりました。まさしく、令和8年度の南本宿小学校の全校でのスタートとなりました。2年生が折り紙のメダルをプレゼントしたり、3年生以上は「南本小クイズ」を出したりして1年生を迎えました。この「1年生を迎える会」を通して、1年生は学校生活にさらに慣れて、上級生との交流を深めました。教室での学習だけでなく、学校探検や休み時間の遊び等、学校での活動も広がっています。1年生がどんどん学校に慣れていく姿はとても頼もしく、これからのさらなる成長が楽しみです。

さて、5月14日(木)は、今年度初めての授業参観・懇談会です。30数年前、まだ初任校で担任をしていた頃、懇談会で保護者の方に何を話そうか、毎回、悩んでいました。その悩みを先輩に伝えた時、「この本を読んでごらん。」と先輩から渡されたのが「アメリカインディアンの教え」という本でした。その本には、教育や子育てについての詩がたくさん書かれていました。いくつかご紹介します。

『子どもたちは、こうして生き方を学びます』

- ・批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします
- ・ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります
- ・ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります
- ・励ましを受けて育った子は、自信をもちます
- ・人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします』

当時、まだ経験年数が浅かった自分は、これらの言葉がとても深く心に残り、この言葉を意識して子どもたちと接し、懇談会でも保護者の方々にこの言葉を紹介して共有していました。教師も保護者も含め、社会の大人は、子どもたちの鏡です。この言葉は、私たち大人が子どもたちにどのように関わるのが大切なのかを、改めて教えてくれました。学校では、一人ひとりの良さに目を向け、努力を認め、温かい言葉かけを大切にすることで、子どもたちが安心して挑戦できる環境づくりに努めています。子どもたちの成長は、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様の温かなまなざしと支えによって育まれます。これからも、子どもたちが自分を大切に、自信をもって成長していけるように、ご家庭や地域の皆様と共に、子どもたちの豊かな成長を育んでいきたいと思えます。

5月14日(木)の授業参観・懇談会、子どもたちの学習している様子やクラスの様子を、ぜひご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。